

あいちトップアスリートアカデミー2023「ユース」選考会Q & A

応募について

- Q 1 誰でも応募できますか？
A 1 愛知県在住で、運動に自信のある人、新しい種目へ転向し、将来オリンピックをはじめとする国際大会で活躍するトップアスリートを目指している人であればぜひ応募してください。
- Q 2 もうすでに募集種目を行っているのですが、応募はできますか？
A 2 応募することはできません。ユースの募集種目の指導を現在、受けていないことが応募条件となります。
- Q 3 中学生は「ジュニア」と重複して応募は可能ですか？
A 3 応募可能です。ただし、「ジュニア」と「ユース」両方で合格した場合は、「ユース」の育成プログラムに参加していただきます。
- Q 4 まだ1種目に決めきれませんが、応募しても良いですか？
A 4 「競技体験会」で複数種目体験し、希望種目を決定してください。選考会当日（5月28日）に、第1希望から第3希望まで記入し提出していただきます。本人の希望と競技団体の評価とのマッチングを行い、実施種目1種目を決定します。
- Q 5 現在、部活動やクラブチームで活動していますが応募できますか？
A 5 応募できますが、合格した場合は、アカデミー活動を優先して取り組んでいただきます。「ユース指定競技一覧詳細」で活動曜日等をしっかり確認して、応募してください。
- Q 6 体力テストだけ参加して、アカデミー生に選ばれても辞退するつもりですが、選考会に応募してもいいですか？
A 6 あいちトップアスリートアカデミーに参加する意志がある場合のみ応募してください。合格者は、必ずアカデミーに参加していただきますようお願いいたします。

競技体験会について

- Q 7 競技体験会に参加するのに参加費はかかりますか？
A 7 競技体験会への参加費は無料です。ケガに備えて保険も事務局で加入します。ただし、会場までの交通費や駐車料金、施設入場料等は参加者で負担していただきます。
- Q 8 どの競技体験会にも参加可能ですか？
A 8 各競技の対象年代を確認していただき、対象年代であればどの競技体験会に参加していただいても構いません。
- Q 9 競技体験会の日程はどのように知ることができますか？
A 9 ユース選考会参加の申込で登録されたメールアドレスへ「競技体験会一覧」を送ります。そちらで、日程や会場、必要な用具等を確認し参加してください。
- Q 10 必ず競技体験会に参加しないと合格できませんか？
A 10 ライフル射撃（ライフル・ピストル）は競技体験会に参加しなければ合格できません。他の種目については、参加が必須ではありませんが、種目のミスマッチを避けるため、希望する種目は最低1回は参加することをお勧めします。

Q 1 1 競技体験会の日程が合わないのですが、別日で参加できますか？

A 1 1 各競技団体の指定する日でなければ参加はできません。都合をつけて参加するようにしてください。

選考会について

Q 1 2 選考会に参加するのに参加費はかかりますか？

A 1 2 選考会の参加費は無料です。

Q 1 3 種目ごとにどのくらいの人が選考（合格）されますか？

A 1 3 種目ごとの合格者数は公表していません。体力測定（一部専門測定）と身体計測の結果、各競技団体の合格基準を満たしている場合、合格となります。

Q 1 4 時間等の詳細は、いつくらいに分かりますか？

A 1 4 体力測定等を実施する中京大学から、選考会の2～3週間前に登録された住所へ詳細を郵送します。

Q 1 5 選考会当日はどのようなことをやりますか？

A 1 5 体力テストと身体計測を実施します。

体力テストは、30m走、垂直跳び、20mシャトルラン、メディシンボール投げ、長座位ハンドボール投げを計測します。身体計測は、身長、体重、上腕と前腕の長さを計測します。測定後は、フィードバックシートをお渡しします。

Q 1 6 選考会の日程の都合が悪いのですが、別日で実施は可能でしょうか？

A 1 6 ユースの選考会は、別日の実施はありません。この日に参加できない場合は、合格することはできませんので都合をつけて参加してください。

育成プログラムについて

Q 1 7 育成プログラム（専門競技プログラム・スポーツ教養プログラム）に参加費用は必要ですか？

A 1 7 専門競技プログラムについては、別紙「ユース指定競技一覧詳細」に記載のあるように、経費が必要です。専門競技プログラムを実施する競技団体へ直接費用を支払っていただきます。スポーツ教養プログラムは、参加費無料です。ただし、会場までの交通費や駐車場利用料金等は自己負担となります。

Q 1 8 専門競技プログラムとはどのような内容ですか？

A 1 8 指定した競技団体の拠点で各競技団体、クラブの代表者から直接指導してもらい、個人の能力を向上させます。

Q 1 9 スポーツ教養プログラムとはどのような内容ですか？

A 1 9 スポーツに関する分野を専門とする大学教授等により、世界で活躍できるアスリートになるために必要な知識等を得るためのプログラム（座学やトレーニング等）を実施します。

※ 昨年度のプログラムの様子は、以下のWebページをご覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyougi-shisetsu/topathlete-2019.html>